

令和5年度（2023年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

民 法

**B 日程入試**

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	民	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（10点）

以下の事項について、典型例を挙げて簡潔に説明しなさい。

- ・同時履行の抗弁権

### 問題2（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

X夫、A妻は、大邸宅に住む夫婦であり、XはXの祖父が起こした年商数百億円を越す会社を営んでいる社長、Aは専業主婦であり、もっぱらXの収入により生活していた。

Aは、ホストクラブに通うようになり、Xから十分な生活費を渡されていたにもかかわらず、さらにAの自由になるお金を得るため、Xの実印等を用いてXを代行して、Xが所有する田舎の土地甲を500万円で勝手にYに売却して甲の所有権登記をYに移転した。Yは、XとAが夫婦であることをよく知っており、XAにとって500万円は日常生活に必要なお金であって、当然、Xも了承しているだろうと考えていた。

その後、XAは離婚した。甲が勝手にYに売られたことになっていることに気づいたXは、Yに対し、Yへの甲の所有権移転登記の抹消登記手続を求めた。

[問い]

XのYに対する請求が認められるかについて、判例を踏まえて説明しなさい。